

広報

さくほ



さくほ ゼロ カーボン

- 主な記事 特集①ゼロカーボン戦略 特集(1)
「佐久穂町の未来を守るゼロカーボン戦略」が始動!2~3p
特集②佐久穂中学校部活、佐久穂小学校クラブ 上位大会に続々出場! ...4~5p
館報さくほ24~33p



佐久穂町の未来を守る 「ゼロカーボン戦略」 が始動！

2025年9月、佐久穂町は「佐久穂町ゼロカーボン戦略」を策定しました。
今月から3回にわたり、その内容をわかりやすくお伝えしていきます。



「ゼロカーボン」てナニ？

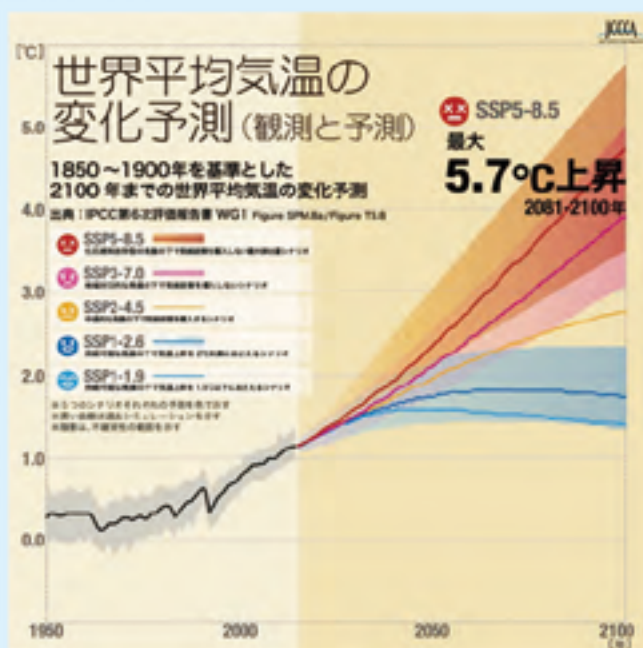
「ゼロカーボン」とは、二酸化炭素(carbon: カーボン)をはじめとする温室効果ガスの排出を実質的にゼロにする、という意味です。

佐久穂町は2023年3月の「佐久穂町気候非常事態宣言」で、町の美しい自然を未来の子どもたちに引き継ぐために2050年までにゼロカーボンを達成し、地球温暖化による気候変動の影響を最小限にとどめることを宣言しました。この目標達成のためにすべきことを具体的にまとめたのが「佐久穂町ゼロカーボン戦略」です。

「なんだか難しそうだな」「目標達成のために、我慢や不便を強いられるのでは?」と感じる方もいるかもしれません。でも、心配しないでください。「佐久穂町ゼロカーボン戦略」は、気候変動の影響を乗り越えると同時に、町が抱える他の問題も解決していく道筋を示しています。地球の未来を守るだけでなく、町の明るい未来、皆さんの幸せを実現するためにできることがあるのです。

地球温暖化の現在

世界気象機関(WMO)によると、2024年の世界平均気温は産業革命前の水準と比べて1.55度上回りました。気温はこれからも上がり、2100年までに最大5.7度上昇するという予測もあります(IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の報告書より)。



地球温暖化の原因と佐久穂町への影響

地球温暖化の主な原因は、二酸化炭素（CO₂）など「温室効果ガス」の増加です。これらのガスが地球を毛布のように覆い、太陽からの熱を閉じ込めます。

産業革命以降、石炭や石油などの化石燃料を大量に燃やすことで大気中の二酸化炭素が大幅に増え、地球の平均気温が上昇しているのです。

温暖化が進むと、異常気象の頻発、海面上昇、生態系の破壊が起き、インフラ、食料、水不足など、人間社会にも深刻な影響を及ぼすでしょう。

皆さんも肌で感じていることと思いますが、佐久穂町も例外ではありません。夏の気温上昇は野菜や果樹の品質を低下させたり栽培を困難にし、牛の乳量低下を招くなど、町が大切にしている農業や酪農に打撃を与えています。

また、熱中症による救急搬送者数も増加傾向にあり、特に高齢者のリスクが懸念されています。



夏秋季の極端な高温で発生する
リンゴの日焼け

町が抱えるもうひとつの課題も同時に解決し、明るい未来へ

地球全体が直面する気候変動に加え、佐久穂町及び日本の地方が共通して抱えているのが、少子高齢化と人口減少の問題です。2050年には佐久穂町の高齢化率が54.6%に達するとされています（国立社会保障・人口問題研究所の推計）。このままでは、働き手不足、経済活動の縮小による財政難により、町のインフラや生活サービスが維持できなくなる恐れもあります。

町が直面する2つの大問題、これらを同時に解決することで明るい未来を実現しようとするのが「佐久穂町ゼロカーボン戦略」です。温暖化防止につながる行動が、町の産業の維持・発展、ひいては町の収入増加につながることを、町の皆さんの暮らしやすさにつながることを説明しています。

今回は「佐久穂町ゼロカーボン戦略」が掲げる具体的な取り組み内容と、予測される効果について詳しくご紹介します。

図版・写真の出典：温室効果ガスインベントリオフィス／全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト
(<https://www.jccca.org/>) より

佐久穂中学校部活、佐久穂小学校クラブ 上位大会に続々出場！

7月23日

町長表敬訪問『中体連卓球、水泳 北信越大会出場』

中体連県大会の卓球競技と水泳競技において優秀な成績をおさめ、北信越大会への出場を決めた、佐久穂中学校女子卓球部および個人水泳で出場の篠原叶望さんが7月23日に、町長を表敬訪問し、開催地である福井県での健闘を誓いました。

■北信越大会出場選手および県大会での結果（敬称略）

卓球団体 佐久穂中女子卓球部（3位）

卓球個人 阿部 歩果（5位）、小野 和奏（9位）、友野 美夢（5位）

水泳個人メドレー 200m 篠原 叶望（2:30.76）



8月5日～7日

『中体連北信越大会』

8月5日、6日の北信越大会卓球の部では、団体戦で3位、個人戦で友野 美夢さんが5位という素晴らしい成績をおさめ、3年連続となる全国大会の出場を決めました。



また、8月7日の水泳の部では、個人メドレー 200m で出場の篠原 叶望さんが2:31.59 のタイムで大健闘しました。



8月18日

町長表敬訪問

『中体連卓球全国大会出場、 小学生バンドフェスティバル東海大会出場』

北信越大会を勝ち抜き、福岡県北九州市で開催の全国大会へ駒を進めた佐久穂中女子卓球部および、長野県小学生バンドフェスティバルにて素晴らしい発表をおこない、岐阜県羽島市で開催の東海大会へ出場を決めた佐久穂小金管クラブが、8月18日に各大会出場の表敬訪問をあわせて行いました。3年連続での全国大会出場を勝ち取った佐久穂中女子卓球部、開校以来初出場となる東海大会へ出場を決めた佐久穂小金管クラブ、それぞれ今までの努力と素晴らしい結果の報告にあわせ大会出場の決意と抱負を述べ、町長からは激励の言葉が送られました。

8月21日～24日 中体連全国大会 卓球の部

本大会では、団体戦で宮城県代表・三本木中、福岡県代表・湯川中と対戦し、個人戦では愛知県・野間中の選手と熱戦を繰り広げました。

全国の舞台は非常にレベルが高く、惜しくも勝利には届きませんでしたが、選手たちは堂々としたプレーを見せ、今年も全国大会で大健闘を果たしました。



9月6日 佐久穂小金管クラブ東海大会出発式



8月20日 佐久穂中女子卓球部全国大会出発見送り

9月6日 小学生バンドフェスティバル東海大会

岐阜県不二羽島文化センターで開催された東海大会では、佐久穂小金管クラブは日頃の練習の成果を発揮し、初出場にもかかわらず、銀賞を受賞するという、素晴らしい成績をおさめました。

秋の粗大ごみ収集(有料)・小型家電収集(無料)のお知らせ

町では、ご家庭から出る粗大ごみや小型家電製品の収集を、以下の日程で行います。
対象となるもの・出し方・料金などをよくご確認のうえ、適切な方法でご協力をお願いいたします。

■ 収集日時・場所

日時 10月11日(土) 午前7時から午前10時まで

場所 生涯学習館「花の郷・茂来館」駐車場

問合せ：住民税務課 生活環境係 (☎ 0267-86-2552)

■ 粗大ごみの持ち込みについて

当日は、以下の点にご注意ください。

- ・粗大ごみの収集料金は、当日会場にて現金でお支払いいただきます。
- ・茶ダンスのガラス戸等は必ず取り外してからお持ちください。
- ・持ち込んだごみは、ご自身で車から降ろしていただく必要があります。
- ・予約は不要ですが、早朝は混雑が予想されます。時間に余裕を持ってご来場ください。

■ 小型家電の無料収集(当日会場)

役場庁舎、茂来館または八千穂福祉センターに常設設置されています「小型家電回収ボックス」の投入口(30cm×60cm)に入らないサイズの小型家電を対象に、当日会場にて無料で収集します。
※必ず電池や灯油などの中身を抜いてから出してください。

回収ボックス	対象物	対応方法
入らない物	石油ファンヒーター、電子レンジなど	当日会場にて無料収集します。
入る物	ヘアドライヤー、電話機など	常設の回収ボックスをご利用ください。

■ 受付できないものについて

以下のものは、法律や処理体制の関係により、会場で受付することができません。

分類	具体例	対応方法
家電リサイクル対象品	テレビ、冷蔵庫、洗濯機、衣類乾燥機、エアコンなど	購入店または専門業者にご相談ください。 処分方法について こちらをご覧ください→ 
パソコン類	ノートパソコン、デスクトップパソコンなど	メーカーによる引き取りをご利用ください。
建築廃材	石膏ボード、断熱材、ウレタン製発泡スチロールなど	産業廃棄物として処理業者へご依頼ください。
業務用(営業行為に伴う)ごみ	商売・事業活動に伴って出たごみ	町の受付対象外です。
大型タイヤ・バッテリー	大型車のタイヤ、バッテリー類	
陶磁器製の食器	皿、茶碗など	役場北側の常設ステーションをご利用ください。

■粗大ごみ収集対象品目と料金

品 目	単 価	品 目	単 価	品 目	単 価
トタン板等		スーツケース		ミシン(卓上以外)	
10kg 当たり	100円	木製滑り台		耕耘機	
10kg 未満	100円	自転車		農業機械	
小型木製家具類		子供用自転車		リヤカー	
タンス		乳母車		家庭用焼却炉	
木製机		ブランコ(鉄製)		風呂釜(浴槽)	
げた箱		米びつ	300円	畳(1枚)	
本棚		金属製脚立		サイドボード	
鏡台		スチール机		オルガン	
木製テーブル	300円	ガスレンジ		ベッド	1,000円
こたつ板		湯沸器		応接用椅子	
その他		ストーブ		流し台	
布団		小型金属器具類		洗面化粧台	
建具(障子)木製		普通車タイヤ		スプリング入りマットレス	
スキー板		ホイール無 1本		大型家具類	
ゴルフ用具		普通車タイヤ		大型家電製品	
チャイルドシート		ホイール付 1本	500円	大型金属器具類	
				ステレオセット	

※上記記載のもの以外で、当日排出予定の物が対象になるか確認したい場合は
生活環境係 ☎0267-86-2552) へお問合せください。

■よくあるご質問(FAQ)

Q. 石油ファンヒーターは無料で出せますか？

A. はい。小型家電として無料で収集します。ただし、灯油を完全に抜いてからお持ちください。

Q. 電気毛布や電気カーペット、木製スピーカーは無料ですか？

A. 布製部分や木製部分との分別が困難であるため、粗大ごみとして有料の収集になります。
また、大型のマッサージ機や乗馬マシンなどは粗大ごみとなり、有料の収集になります。

Q. パソコンは出せますか？

A. 出せません。資源有効利用促進法に基づき、メーカー等での回収となります。

Q. 雨でも実施されますか？

A. 雨天決行です。荒天時など特別な場合は、無線放送などでお知らせします。

Q. 当日、荷物を降ろしてもらえますか？

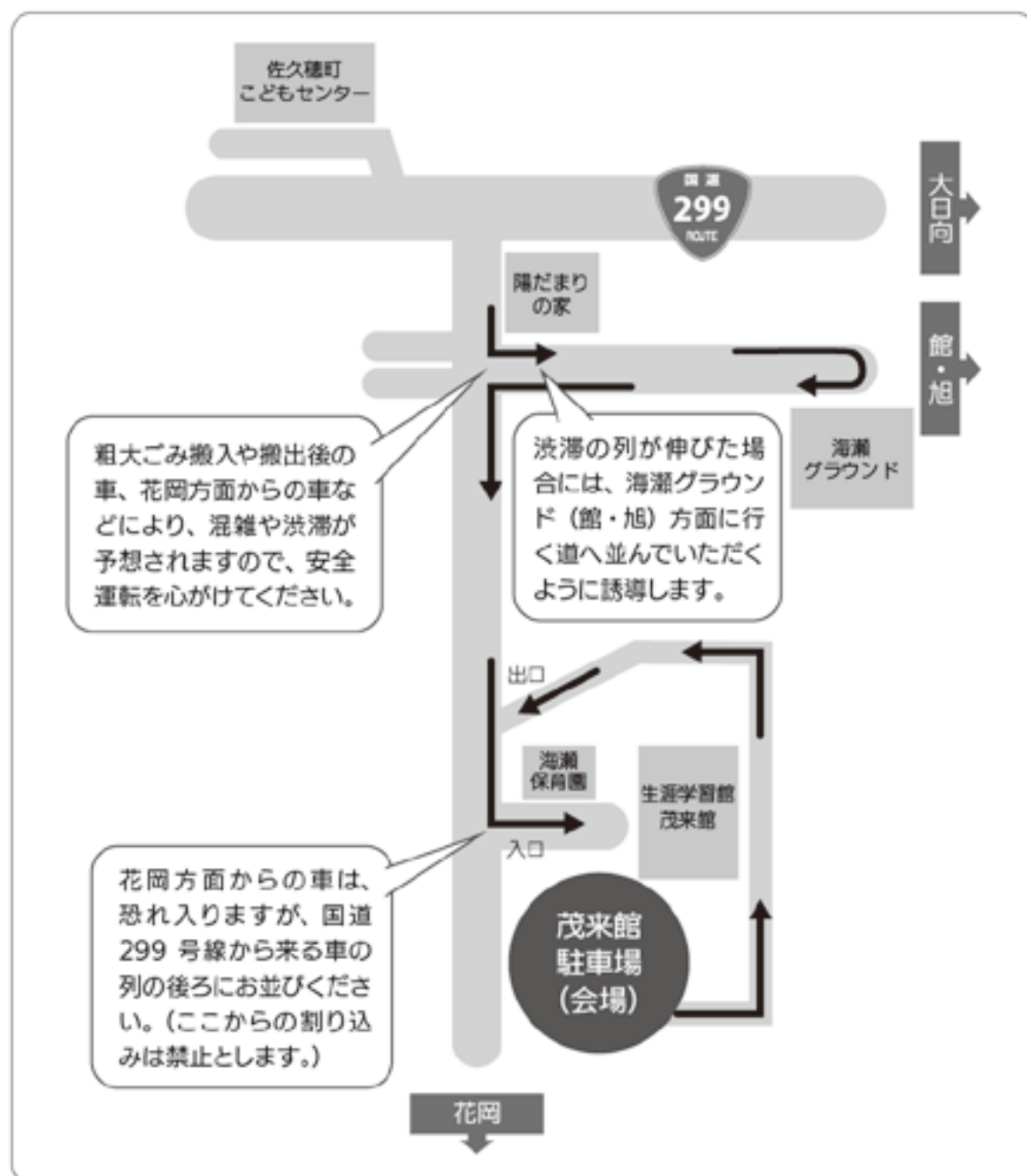
A. 原則として、ご自身で荷降ろしをしていただきます。複数人でのご来場をおすすめします。

佐久穂町粗大ごみ収集における 混雑時の車の流れについて



粗大ごみ収集時の、渋滞発生による国道等の混雑解消のため、海瀬グラウンド方面（館・旭方面）へ行く道へお並びいただくように誘導いたしますので、皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

なお、この道をお使いの皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、別の道をご利用いただくか、係員の指示にしたがって通行いただきますようお願いいたします。



定額減税補足給付金(不足額給付)のお知らせ

「定額減税補足給付金(不足額給付)」とは、令和6年度に実施した「定額減税調整給付金」の支給額に不足が生じる場合に、令和7年度にその不足額を支給するものです。

対象となる方には令和7年9月1日から順次、受給に必要な確認書を送付しましたので、内容をご確認の上、申請期限までに申請してください。

申請期限 令和7年10月31日(金) 当日消印有効

※申請期限を過ぎた場合は給付金の支給ができませんのでご注意ください。

対象者

対象者は、令和7年1月1日に佐久穂町に住民登録のある方で、以下の「不足額給付Ⅰ」または「不足額給付Ⅱ」の要件に該当する方です。ただし、本人の合計所得金額が1,805万円を超える方、死亡している方は対象外です。

【不足額給付Ⅰ】

令和6年度に実施した「定額減税調整給付金」は、令和5年所得等を基にした推計額を用いて算定しています。このため令和6年分所得税が確定したのちに、「本来給付すべき額」と「実際に給付した額」との間で不足が生じた方に、不足する額を給付します。

※令和6年分所得税及び令和6年度個人住民税所得割がともに課税されない人は対象ではありません。

※令和6年度定額減税調整給付金の申請期限までに申請がなく支給を受けていない方は、定額減税調整給付金の給付額分を、不足額給付として受け取ることはできません。

【不足額給付Ⅱ】

次の1～3のすべての要件を満たす方に、1人あたり原則4万円(定額)を給付します。

(※令和6年1月1日時点で国外居住者であった場合は3万円)

1. 令和6年分所得税及び令和6年度個人住民税所得割がともに定額減税前税額が0円であること。(本人として定額減税の対象外であること。)
2. 令和6年分所得税及び令和6年度個人住民税に係る合計所得が、48万円を超える者または青色事業専従者・事業専従者(白色)であることから、税制度上の扶養親族の対象外であること。
3. 令和5年度、令和6年度に実施した低所得世帯向け給付金の対象世帯の世帯主・世帯員に該当しないこと。

※通知が届かないが対象と思われる方は、下記へお問合せください。

《申請受付窓口・問合せ》 住民税務課 税務係 ☎0267-86-2526

令和8年度 保育所入所受付のご案内

令和8年度の保育所入所受付を次の日程で行います。入所を予定される児童の保護者の方は、期日までに入所申込書及び必要書類を提出してください。申込書は、9月25日（木）から各保育所又は教育委員会こども課で配布します。また、町ホームページからもダウンロードできます。なお、現在町内の保育所に通所しているご家庭には、園児を通じてご案内します。

佐久穂町の保育所



◆町立保育園

施設名	所在地	電話	開所時間	定員	受け入れ年齢
栄保育園	高野町228	86-2186	7:30～19:00	150名	6ヶ月児～
海瀬保育園	海瀬2543-1	86-2187	7:30～19:00	100名	6ヶ月児～
八千穂保育園	畑660	88-2252	7:30～19:00	170名	6ヶ月児～

※祝日を除く土曜日、お盆休み、年末年始休み、年度末休みは希望登園になります。
希望登園は栄保育園で実施します。

◆地方裁量型認定こども園

施設名	所在地	電話	開所時間	定員	受け入れ年齢
ちいろばの杜	八郡2893	78-3919	7:40～18:40	10名	1歳児～

※ちいろばの杜入所希望者は、直接施設へお問い合わせください。
(ちいろばの杜ホームページ：<https://chirobayachiho.wixsite.com>)

入所申込書の受付日程について(新規申込の方)

◆紙で申請の場合

- ・入所申込書受付期間：令和7年10月17日（金）～令和7年10月24日（金）※土日を除く
- ・受付時間：9時00分～16時30分
- ・受付場所：佐久穂町役場こども課保育園係
※来庁日時を事前にご予約ください。



←予約フォームから来庁
日時をご入力ください。

◆オンライン申請の場合

- ～デジタル庁が提供するマイナポータルからオンライン申請が可能となりました～
- ・オンライン申請期間：令和7年10月1日（水）～令和7年10月24日（金）
※オンライン申請にあたっての留意事項を町ホームページへ掲載しています。申請前に必ずご確認ください。

◆入所の決定について

上記の受付期間内に申請された方から入所調整を行います。ただし、各園の入所予定数を上回った場合は、希望に添えないことがありますのでご承知ください。

令和8年4月以降に年度途中で入所を予定している方

年度の途中から入所を予定している場合も右記の日程で必ず申請をしてください。受付期間後の申請の場合、保育所への入所ができないことがあります。

〈例〉

- ・育児休業等の期間が決まっており、年度途中で復職予定の方
- ・これから出産予定で、出産前後で保育園の入所を希望される方
- ・求職活動や就労を予定されている方

広域入所について

保護者の勤務等の事情により、町内の保育所への通所が困難であり他市町村の保育所へ入所を希望される場合は、教育委員会こども課保育園係へ直接ご相談ください。

保育の認定について

保育所とは、以下のいずれかの事由に該当し、家庭で保育のできない保護者に代わって保育をする施設です。「下の子の育児に手がかる」、「同年代の友達と遊ばせたい」、「集団生活に慣れさせるため」等の理由では利用することができません。

また、保護者が育児休業中の場合、原則として3歳未満児の利用はできません。

〈保育の必要な事由〉

- 次のいずれかに該当することが必要です。
- 就労（フルタイムのほか、パートタイム、夜間、居宅内の労働など）
 - 妊娠、出産
 - 保護者の疾病、障がい
 - 同居又は長期入院等している親族の介護・看護
 - 災害復旧
 - 求職活動中（起業準備中を含む）
 - 就学（職業訓練校等における職業訓練を含む）
 - 虐待やDVのおそれがあること。
 - 育児休業取得中に、特別な理由があり保育を利用している園児がいて、その園児がさらに継続利用が必要であること。
 - その他、町長が特に認める状態にあること。

〈保育の必要量〉

保育を必要とする事由や保護者の状況に応じ、次のいずれかに区分されます。

①「保育標準時間認定」

→最長11時間保育

（町立保育園 7:30～18:30）

（ちいろばの杜 7:40～18:40）

②「保育短時間認定」

→最長8時間保育

（町立保育園 8:00～16:00）

（ちいろばの杜 7:40～15:40）

※認定区分を超えた保育は延長保育となります。

《問合せ》各保育所又は教育委員会こども課保育園係（電話 0267-86-2340）

佐久穂町生活支援体制整備協議体 「ちょっと知って幸せプログラム」 広報ページ

ちょっと知って幸せニュース

第36号

令和7年9月号



「聞くこと」でつながる心
～佐久穂町の傾聴活動、これまでとこれから～

しかし、コロナ禍によって訪問活動は大きな影響を受けてしまっています。メンバーの高齢化や生活環境の変化も重なり、団体としての活動を継続することが難しくなります。けれども傾聴

はじまりは、傾聴ボランティア講習を受けた数名のボランティアさんでした。後から活動に加わった方も含め、デイサービスや入所施設、個人宅などを訪問し、対話を重ねてきました。活動が盛んだった頃は、町内の高齢者施設や障がい者施設のほかに、10名以上の在宅高齢者と関わることもありました。

グループの歩み

佐久穂町で、静かに、でも確かに続いてきた傾聴の活動があります。その名も「傾聴ボランティアの会」。平成25年に発足したこのグループは、地域で暮らす人たちの「話を聞いてほしい」「誰かとつながりたい」という思いに、耳を傾けてきました。

現在は、自主活動グループとして5名ほどが「ほっとこーる（電話での傾聴）」「施設を訪問しての傾聴」「個人の傾聴」を続けています。また、電話が苦手な方の声から生まれた「お手紙を送る」取り組みも始めました。

新たなかたちへ「ほっとこーる」と手紙の取り組み

の火が消えることはありませんでした。



希望者へ発送されているお手紙
季節の話題が書かれている

毎月1回、メンバーが集まり、活動の報告や今後の相談を行っています。会で希望者に送るお手紙には、障がい者福祉施設の利用者さんが作った折り紙やメッセージカードも添えられています。受け取った方からは、「部屋に飾っている」「手紙だけでも嬉しいけど、かわいいものが入っているともっと嬉しい」といった声が届き、手紙の温もりが確かに伝わっているのが分かります。



定期的にメンバーが集まり、
お互いの活動を支えあっている

続ける理由

長年この活動が続けてきた皆さんの言葉には、傾聴が「人のため」である以上に「自分のため」であることがにじみます。

『話を聞くことで、町のことを知り、自分もこの町に馴染むことができた。仲間がいて、助けられている。』

『デイサービスでは同じ話を繰り返し聞くこともあるけれど、大先輩の話は勉強になるし、この人は頑張ってるんだから自分も頑張らなきゃと思える。』

また彼女たちは、相手の話を

評価しません。その姿勢は、自分もそうしてもらいたいと思っただという経験に基づくもので、人との関わりに役立っているそのうです。

負担ではなく心の栄養に

活動は月に1、2回、1時間ほど。多くのメンバーが「負担には感じない」と言います。

『退職後、こうした活動をしていなければ、ただ家にいて何かないかなーとまっているだけだったと思う。いろんな人との出会い、さまざまな情報に触れられる場所になっている。』

『話を聞いてもらっているうちに、外に出てみようかなと思うようになった。道の駅なんか行きたいと思わなかったけど、行ってみようかと思うようになったよ。』と言われてうれしかった。』

10年以上続ける中で、皆が共通して感じているのは「誰もが話を聞いてほしいと思っている」という実感です。「自分も同じ」ーそう思えるからこそ、無理なく自然体で続けられているのでしよう。

これからのことー

『話を聞いてほしい人はたくさんいると思う。傾聴の仲間が増えれば、もっと多くの人に関わることが出来る。』

そう話すメンバーたちは、「健康に気を付けてこれからも続けたい」「いつか自分も傾聴してもらいたい」と未来にも思いをはせています。

『聞く』ということは、「話す」以上に人とつながり、ささやかだけど確かな幸せを広める可能性を秘めているのだと感じました。

(文責)

生活支援コーディネーター

畑



お手紙につけたクリスマスカード
ひとつひとつ手作りで
想いが込められている

活動のきっかけになった「傾聴ボランティア講座」を、10月24日(金)に佐久穂町社会福祉協議会にて行います。詳しくは本号お知らせ欄(19ページ)をご覧ください。

お問い合わせは佐久穂町社会福祉協議会(☎86-4273)へ。





ローリングストックって何?

皆さんはローリングストックという言葉をご存じですか?

ローリングストックとは、災害時の備えとして注目されている日常的な食品備蓄法のことです。普段から利用している食品を多めに購入して、消費した分を新しく買い足すことで、常に一定量の食品を家庭に備蓄します。

ローリングストックのポイント

まずは古いものから使いましょう。そして使った分は必ず補

充しましょう。補充を怠ったタイミングで災害が発生すること考えられます。

カセットコンロの備え

災害発生からライフラインの復旧まで一週間以上かかることもあります。

温かい食事は心と身体に活力を与え、災害に立ち向かうエネルギーとなります。避難所となる公民館などは火気厳禁となっていることがあります。災害時で火災予防上支障がない場合はカセットコンロの使用が認められます。

その際は施設管理者や消防関係者の指示に従って使用してください。

ローリングストック

は比較的簡単に始められる災害の備えです。まずは一日分の食事を備蓄するところからはじめてみませんか?



佐久広域連合本部からのお知らせ

「はしご付き消防自動車」の点検実施について

車の健康診断を実施します!

佐久広域連合消防本部に配備されている「はしご付き消防自動車」は、主に佐久広域管内の中高層建築物や工場火災等を対象として、消火・人命救助活動に備え、導入から17年が経過し、前回オーバーホールから7年が経過しました。

「はしご付き消防自動車」を安全に使用するにあたり、「重大事故につながる不具合」の未然防止のため、専門技術者による分解・点検整備、老朽化や劣化した部品の交換を行います。

「命を救う車のいのち」の点検にご理解をお願いいたします。

◆ご不明な点は、

佐久広域連合消防本部

(電話0267-6410119)

にお問い合わせください。



点検期間…令和7年10月上旬～令和8年2月27日まで

点検中の対応…状況により「上田地域広域連合消防本部」のしご車を要請します。

こどもセンターさくほっこからのお知らせ

■問合せ 佐久穂町こどもセンター ☎0267-86-2123

【プレイルームの利用について】

佐久穂町、小海町の方（予約不要）

それ以外の方（事前予約が必要）

佐久穂町外の方の利用可能時間は、平日の9時～12時です。

※こどもセンターの行事のある日、土日祝日、小学校休校日・長期休みはご利用できません。

【行事（予約制）】

定員 各6～8組程度

対象者 佐久穂町在住の就園前のお子さんと保護者の方（通園している方で参加希望の方はご相談ください。）

【行事予約方法について】

◎佐久穂町公式LINEからお申込みください。

◎10月分の予約受付開始時間

9月25日（木） 9:00～

◎定員に達し次第、キャンセル待ちをこどもセンター窓口または電話で受け付けます。

◎ご不明な点は、お問い合わせください。



【製作期間 ハロウィンの製作をしよう!】

■期間：10月1日（水）～10月10日（金）

・予約不要。行事のある日は終わり次第のご案内となります。

・完成した作品をカレンダーにできます。

【さくほっこdeえいご】

■日時：10月16日（木） 10:00～11:00

■場所：こどもセンターさくほっこ ホール1

・絵本や季節のフレーズなどを英語で楽しめます。

【さくほっこdeリトミック】

■日時：10月21日（火）

（乳児）10:00～10:45

（幼児）11:00～11:45

■場所：こどもセンターさくほっこ ホール3

・音楽に合わせて体を動かします。

・乳児の部は、ねんねやハイハイのお子さん（概ね1歳ごろ）、幼児の部は自分で歩けるお子さんが対象です。

【よみきかせ&おたんじょう会】

■日時：10月29日（水）

10:15 図書館司書さんの読み聞かせとお誕生会

10:45 お誕生カード作り（誕生児のみ）

■場所：こどもセンターさくほっこ ホール1

・今年度から時間に変更になりました。

・お誕生児で予約できなかった場合にはこどもセンターまでご連絡ください。お誕生児以外も参加できます。みなでお祝いしましょう。

・お誕生カードは、お誕生月中いつでも作成できます。（カードは親子での記念写真と、手型や足型のアートを予定しています。）

【子育てママとわかものしごと相談】

■日時：10月30日（木） 10:30～12:00

■場所：こどもセンターさくほっこ 和室

・女性就業支援員が相談に応じます。お子様連れで参加できます。お気軽にお申込みください。
・わかものしごと相談は30歳未満対象です。

〔広告欄〕

市町村振興宝くじ ハロウィンジャンボ宝くじ発売中!

「ハロウィンジャンボ宝くじ」
「ハロウィンジャンボミニ」

9月19日⑤～全額2種類 同時発売

【発売期間】

令和7年9月19日（金）～10月19日（月）



この宝くじの収益金は、市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢者対策など地域住民の福祉向上のために使われます。

長野県の販売実績により配分されますので、ぜひ長野県内の宝くじ売り場でお買い求めください。

インターネット「宝くじ公式サイト」で会員登録すると24時間いつでも購入可能です。長野県の住所で会員登録を行うことにより、収益金は長野県に配分されます。ぜひご利用ください。



佐久穂小・中学校の学校給食を無償化しています

■問合せ こども課 学校教育係 ☎0267-86-4940

子どもの健やかな成長と子育て世帯への経済的負担を軽減するため、町に住所があり佐久穂小・中学校に在学する児童生徒を対象に、給食費を無償化しています。

無償化している給食費

■小学校 1食305円

年間1人あたり61,305円（給食提供日数201日）

■中学校 1食345円

年間1人あたり69,345円（給食提供日数201日）

これからも安心安全で栄養バランスを保った学校給食を提供し、安心して子育てができる環境を整備します。



文部科学省の学校給食優良学校等として表彰されました

■問合せ こども課 学校教育係 ☎0267-86-4940

令和7年8月5日、佐久穂小・中学校共同調理場が、文部科学省から学校給食優良学校等として表彰されました。

この表彰は、学校給食の普及と充実を図るため、学校給食の実施に関し、優秀な成果をあげた国公立の学校、共同調理場及び特に功績のあった学校給食関係者並びに学校給食団体を対象として行われます。

「子どもたちが健やかに育ってほしい」という思いを込め、地元産の食材にこだわり、まごころと緑で安心・安全な給食の提供に努めたことが、評価され、今回の表彰となったものです。



町立保育園の副食費の無償化・保育料の減額について

■問合せ こども課 保育園係 ☎0267-86-2340

町では、子育て家庭の経済的負担を軽減するため、3歳以上児の副食費の無償化および3歳未満児の保育料を減額しています。詳しくは下記の表をご覧ください。

（保育料は世帯の所得に応じて決まります。）

■対象児童

町内に住所があり、町立保育園に通うお子さん
※3歳以上のお子さんは、令和元年10月より保育料が全額無償です



◀ 詳細は佐久穂町HPをご確認ください。



■3歳未満のお子さん

区分	保育料負担
通常（基本）	月額40%減額
同一世帯の2人目	70%減額
同一世帯の3人目	無償
特例世帯※（第1子）	70%減額
特例世帯※（第2子以降）	無償

※特例世帯：町民税所得割が一定額未満の世帯、ひとり親世帯、障がい者のいる世帯等

陽だまりの家地域活動支援センターからお知らせ

■問合せ 陽だまりの家 地域活動支援センター ☎0267-77-7287

【ピアの会開催について】

ピアの会は、メンタル面の不調や同じ病気、症状、同じ薬を服用しているなど、似たような困りごとを経験している方が集まる当事者の会です。何気ない会話の中に、当事者だからこそ気づける困りごとがあり、相談や情報交換をすることができます。研修を修了したピアサポーターを中心に会の運営を行っており、ゆったりとした雰囲気の中で、会話や季節の行事を楽しんでいます。地域活動支援センターでは毎月ピアの会を開催しています。お気軽にお問合せください。

■日時 10月6日(月)・27日(月)

13:00～14:30

■場所 佐久穂町地域活動支援センター

■対象 佐久穂町在住でメンタル面の不調をお持ちの方、また、そのご家族

■内容 フリートーク、学習会など

■費用 無料

【生活をちょっと豊かにする手しごとタイム with 地域おこし協力隊】

“生活をちょっと豊かにする手しごと”をテーマに、地域おこし協力隊が講座を行います。

10月は、ペーパービーズ制作を行います。チラシを利用し、コロンとした可愛いビーズを作り、小さなプレスレットやストラップを制作する予定です。お気軽におこしください。

■日時 10月8日(水) 13:00～14:30

■場所 佐久穂町地域活動支援センター

■対象 佐久穂町在住の方

■費用 無料

■内容 ペーパービーズ制作

■定員 10名 ■持ち物 なし



未就園児交流会・園庭開放について

■問合せ こども課 保育園係 ☎0267-86-2340

☆未就園児交流会

10月の活動内容(3園共に散歩)

*7日(火) 海瀬保育園(茂来館周辺)

*9日(木) 八千穂保育園(権現山周辺)

*10日(金) 栄保育園(高野町諏訪神社周辺)

■時間 9:30～11:00

■対象 未就園児とその保護者

■持ち物: 上履き 帽子 水筒 着替え(必要に応じて)

☆事前予約制です。中止の連絡は当日朝9時までに公式LINEにてお知らせします。

☆町外在住の方もご利用いただけます。是非、お友だちもお誘いあわせのうえ、ご参加ください!

■予約方法

・佐久穂町公式LINEで「メニュー」の「予約」から予約してください。



・予約開始日は公式LINEでお知らせします。

☆園庭開放 ～園庭で自由に遊べます～

■日時 10月18日(土) 9:00～11:30

■場所 海瀬保育園 園庭

■対象 未就学児とその保護者

※園庭開放の時間内に『子育て相談』を行っています。事前予約制となりますので、ご希望の方は、海瀬保育園(TEL86-2187)へご連絡ください。

[広告欄]

県下一斉司法書士無料法律相談会

■日時: 10月9日(木) 13:00～15:00

■場所: 茂来館 学習室1・2

■予約不要、相談無料

不動産の登記、相続、空き家、債務に関する事など、法律で悩んでいることがあればお気軽にご相談ください。

お出かけください 誰でも参加できる地域のカフェ

■問合せ 佐久穂町社会福祉協議会 ☎0267-86-4273 佐久穂町地域包括支援センター ☎0267-86-1550

社協カフェ

お茶を飲みながらおしゃべりして、『ほっとな気分』になれる場所です。年齢は関係なく、誰でも参加していただけます。お気軽にお越しください。

■時間：9:30～

■料金：無料（予約不要）



- | | | |
|------------|----------------------|-----------------------|
| ◇ほっとカフェ | 日時：10月1日、15日（水） | 場所：社協ふれあい支所2F |
| ◇こまどりカフェ | 日時：10月7日、21日（火） | 場所：八千穂老人福祉センター |
| ◇こまどり体操 | 日時：10月14日（火） | 場所：八千穂老人福祉センター ※飲み物持参 |
| ◇おとこのカフェ | 日時：10月29日（水） | 場所：社協ふれあい支所2F |
| ◇ミニカフェ（男性） | 日時：10月3日、10日、17日、24日 | 場所：社協ふれあい支所2F |

ふるさとカフェ

認知能力低下の予防、フレイル予防を目的に、話をしながら創作活動や体操をします。どなたでも参加できます。気軽にお出かけください。

【折り紙アートをつくろう】

■日時：10月10日（金）10:00～11:00

■場所：茂来館 2階 小会議室

■料金：無料

【社協ミニカフェへでかけよう！】

■日時：10月24日（金）10:00～11:00

■場所：社協ふれあい支所2F

■料金：無料

【問い合わせ】

地域包括支援センター

☎0267-86-1550



ふるさとカフェ・トーク

「認知症だと思うけど、どう対応したらいいかわからない。」「介護サービスを考えているが、どんな手続きをしたらいいかわからない。」そんな疑問を、お茶を飲みながら認知症地域支援推進員に相談してみませんか？

■日時：10月24日（金）10:00～11:00

（ふるさとカフェと同時開催）

■受付：社協ふれあい支所2F

※社協ミニカフェの一角で実施します。見守りが必要な方も一緒に参加される場合は、カフェにて見守り対応します。事前にご相談ください。

■料金：無料

■申込：地域包括支援センター

☎0267-86-1550

佐久穂町社会福祉協議会 臨時職員募集について ***皆様のお力をお貸しください!***

■募集職種：看護師・准看護師（介護福祉士、ヘルパー2級以上）

■仕事内容：高齢者、障がい者の介護、看護業務、訪問介護業務

■雇用形態：臨時職員

■勤務時間：午前8時30分～午後5時30分 ※短時間勤務の相談可

■雇用期間：令和8年3月31日まで

■給与等：時間給1,020円～1,160円（資格状況により）

■募集期間：随時相談受付

※土日祝日を除く午前9時～午後3時

応募書類等詳細は、ホームページをご覧ください。



◇問合せ

佐久穂町社会福祉協議会法人運営課 ☎0267-86-4273

集落の話の聴き手活動 最新情報!

■問合せ 総合政策課 政策推進係 ☎0267-86-2553

集落の話の聴き手事業では、9月に田んぼと食べ物の記事を公開しました。

今回、取材にご協力いただいたのは吉乃寿司の吉田幸雄さん、吉江さん。田んぼへの出前やイナゴ採りなど懐かしい思い出をお聴きしました。

「戦後80年が経ち」の記事も毎月更新中です。記事は公式noteからご覧いただけます。

「さくほ集落の話の聴き手公式note」



また、現在は十日夜について取材を進めています。どうぞお楽しみに!

公開したnote記事は、役場・茂来館・もらいカフェに閲覧用をご用意しておりますのでご覧ください。

傾聴ボランティア基礎講座のお知らせ

■問合せ 佐久穂町社会福祉協議会 地域福祉課 ☎0267-86-4273

佐久穂町社協では、「傾聴ボランティア基礎講座」を開催いたします。専門講師を招き、「傾聴」についてわかりやすく実践的な内容を教えていただきます。傾聴について気になっている方、初めてだけどやってみたいという方も大歓迎です。「傾聴ボランティア」で地域に笑顔を届けませんか? 皆さまのご参加、お待ちしております。

■開催日 10月24日(金)

■時間 受付9:30~ 講座10:00~16:00

■会場 佐久穂町社会福祉協議会
ふれあい支所 2階 多目的ホール

■参加費 無料(昼食持参)

■対象者 町内在住の方

■定員 15名程度(先着順)

■申込み 右側QRコード、
または佐久穂町社協(担当:片井、松本)までご連絡ください。



「千曲病院祭・福祉と健康のつどい」の開催について

■問合せ 健康福祉課健康づくり係・保健係 ☎0267-86-2528
千曲病院 ☎0267-86-2360

「千曲病院祭・福祉と健康のつどい」を下記のとおり、開催します。

日時: 令和7年10月19日(日)

午前9時~午後3時

会場: 千曲病院・社会福祉協議会花の里ふれあい
内容等につきましては、全戸配布のチラシをご覧ください。大勢の皆さまのご来場をお待ちしております。

働く女性のための相談窓口を開設しました

■問合せ 住民税務課 人権政策係 ☎0267-86-2525

佐久穂町では、女性が安心して働き、暮らすことができる環境づくりを目指し、「働く女性のための相談窓口」を開設しました。

この相談窓口では、町役場の女性職員が対応し、女性が職場で働くうえでの悩みや不安について、一緒に考え、支援します。

「こんなことで相談してもいいのかな...」と迷うようなことでも、お気軽にご相談ください。相談内容の秘密は厳守いたします。

すぐに解決に結びつかないこともあるかもしれませんが、あなたの気持ちや悩みを、しっかりとお聴きします。

ご相談の内容によっては、専門の支援機関などをご案内することもあります。あなたが適切な支援を受けられるよう、お手伝いします。

詳しくは、町ホームページをご覧ください。



点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん 第104号」の閲覧及び貸し出しについて

■問合せ 健康福祉課 福祉係 ☎0267-86-2528
佐久穂町図書館 ☎0267-86-7020

政府の施策等の情報をまとめた、点字・大活字広報誌「ふれあいらしんばん（第104号）」及び、広報誌と同じ内容の音声広報CD「明日への声（第104号）」の閲覧・貸出を行なっています。視覚に障害のある方やそのご家族、ご友人など、ご希望の方には閲覧や貸し出しを行っています。障害のない方もご覧いただけます。

◆閲覧・貸出しができる資料

- ・ふれあいらしんばん 第104号
- ・明日への声（CD） 第104号

◆閲覧及び貸出しができる場所

- ・佐久穂町役場 健康福祉課 福祉係
- ・佐久穂町図書館

内容や詳細は
ホームページをご覧ください。



佐久穂町戦没者追悼式について

■問合せ 佐久穂町社会福祉協議会 ☎0267-86-4273

先の大戦から80年の節目の年となりました。佐久穂町では犠牲となった戦没者の方々に對し追悼の意を表するとともに、平和への誓いを強固とするため、佐久穂町戦没者追悼式を挙行之、参列者を募集します。

日 時：10月2日（木）13：30～

式 場：花の郷・茂来館 メリアホール

参 加 者：戦没者のご遺族の方

一般参加者（佐久穂町在住）など

内 容：黙禱、追悼の辞、献花

申込締切：9月26日（金）まで

申 込 先：佐久穂町社協 地域福祉課
86-4273（土日祝日を除く）

令和7年度「要約筆記入門講座」受講者募集のお知らせ

■問合せ 佐久広域連合 障害者相談支援センター
☎0267-63-5177 FAX:0267-63-0611

要約筆記とはその場で話の内容を文字で表し、耳の聞こえにくい方々に伝える通訳の方法です。障害者相談支援センターでは、入門講座を開催します。耳の聞こえにくい方も是非ご参加ください。見学のみでもご参加いただけます。お気軽にお問合せください。

■日時及び内容（全3回 13：30～15：30）

第1回 11月12日（水）「聞こえにくいとは」

第2回 11月19日（水）「要約筆記ってなに」

第3回 11月26日（水）「要約筆記体験」

■場 所：佐久市生涯学習センター 会議室1

■受講料：無料

■対象者：佐久地域に居住または
勤務されている方

■定 員：15名

■申込締切：10月27日（月）

■申込・問合せ先：

佐久広域連合 障害者相談支援センター
電話：0267-63-5177
8：30～17：15（土日、祝日を除く）

図書館からのお知らせ

■問合せ 佐久穂町図書館 ☎0267-86-7020

○10月の休館日

6日（月）・14日（火）・20日（月）

27日（月）・31日（金）

○とちの実おはなし会

日 時 10月11日（土）

10：30～11：00

場 所 図書館内

内 容 絵本の読み聞かせほか

○移動図書館車の巡回日程は、本誌の公民館報にてご確認ください。

自殺対策・自殺関連相談研修会のご案内

■問合せ 健康福祉課 保健係 ☎0267-86-2528 長野県精神保健福祉センター ☎026-266-0280

【自殺予防ゲートキーパー養成研修会】

“ゲートキーパー”とは自殺を予防する命の門の守り人のことです。身近な方のいつもと違う様子に「気づき」、「話を聴き」、必要な情報を提供したり専門の相談機関に「つなぎ」、必要な支援が途切れないよう連携しながら、その後も「見守る」ことがゲートキーパーの役割です。自殺を未然に防げるよう、下記のとおりゲートキーパー養成研修会を開催します。

【初級編】

日 時：10月27日(月) 13:30～15:30

場 所：佐久市佐久平交流センター 第5会議室

費 用：無料(申込み制、先着90名)

申 込：10月3日(金)までに佐久穂町役場

保健師までお申し込みください。

内 容：

研修Ⅰ「自殺の実態とゲートキーパーについて」

研修Ⅱ「心の健康の理解～うつ病・アルコール問題を中心に～」

【自殺関連相談オンライン研修会】

発達段階に応じて死に対する理解や反応が異なる自死遺児等について理解し、接する際の基本的な姿勢等について学ぶためにオンライン研修会を開催します。地域の支援者・住民として、何ができるか、一緒に考えてみませんか。

日 時：10月17日(金) 13:30～15:30

開催方法：オンライン(ZOOM)

参 加 費：無料

講 演：「身近な人を自殺で亡くした子どもの理解」(仮)

講 師：特定非営利活動法人自死遺族支援ネットワーク Re代表 山口 和浩 氏

対 象 者：自殺対策や自死遺族(児)支援に関わる支援者、一般県民

申 込：10月3日(金)までに下記のQRコードからお申し込みください。



信州フラワーショー サマーセレクションで町の生産者が受賞されました

■問合せ 産業振興課 農政係 ☎0267-86-2529

県内最大級の花の品評会「信州フラワーショー サマーセレクション」がJA全農長野花き専門委員会・全国農業協同組合連合会長野県本部主催により開催されました。

生産者の技術向上を目的に毎年開かれており今年で55回目になります。



(小澤 真一 様)

色とりどりの10種類余が会場に並び、生産者が丹精した347点が出品されました。

市場や県の関係者ら13人が花の形や色などを審査し、佐久穂町生産者から4名の皆様が入賞いたしました。

結果は以下の通りです。

◇農林水産省農産局長賞 小澤 真一 様

品目 スタンダードカーネーション

◇全農長野県本部長賞 阿部 和博 様

品目 スタンダードカーネーション

◇長野市長賞 石井 忠雄 様

品目 トルコギキョウ

◇フラワーショー運営者委員長賞 菊池 美智代 様

品目 スタンダードカーネーション

公民館 講座・イベント情報

■問合せ 佐久穂町公民館 ☎0267-86-2041

< イベント >

◆スポーツ DAY

自分の体を知ることが全ての生活の基本!

体力を知ってスポーツを楽しみましょう!

お一人でも、ご家族、ご友人との参加も大歓迎です。ぜひ奮ってご参加ください。

日 時 10月11日(土) 13:00~16:00

会 場 しらかば社会体育館

内 容 体力測定

足の無料診断~体の不調は足から~

明治安田生命 体の無料診断

(血圧年齢測定・野菜摂取量測定)

チーム佐久穂による認知症予防ゲーム

対象者 6歳以上の町民

参加料 無料(申込み不要)

持ち物 運動できる服、タオル、飲み物、
室内靴(走りやすいもの)

< 参加者募集 >

◆第21回さくほスタインベルクピアノ

リレーコンサート参加者募集

開催日時 11月16日(日) 10:00~

会 場 茂来館メリアホール

演奏時間 1組 7分(時間厳守)

申込方法 申込書をご記入の上、公民館窓口、
郵送、FAXにてお申込みください。

申込締切 10月17日(金)

◆スマイルボウリング大会参加者募集

開催日時 11月8日(土) 13:00~

会 場 海瀬社会体育館

< 講座 >

◆第6回ステンドグラス講座

【クリスマスツリー・リースづくり】

日 時 11月30日(日) 13:00~16:00

会 場 茂来館創作室 講師 中野稔さん

受講料 2,500円(材料費)

申 込 10/1~受付開始

◆第6回茂来クラブ

オリジナルわら細工で新年を迎えましょう

日 時 12月7日(日) 9:00~15:00

会 場 茂来館メリアホール

講 師 元村祥大さん、阿部こころさん

作 品 ごぼうじめ・俵・前掛け・宝船など

受講料 200円~1,000円(昨年の実績)

申 込 10/1~受付開始

◆第5回人権同和教育講座

日 時 10月26日(日) 14:00~15:30

会 場 茂来館メリアホール

講 師 NPO法人場作りネットやどかりハウス

秋山紅葉さん、塩野美里さん

演 題 聴かれてこなかった声に耳を傾ける

~駆け込み宿の現場から~

受講料 無料 申込 当日受付

◆第3回文化芸術講座

秋の星空・佐久平と宇宙の物語

日 時 10月13日(月) 14:00~15:30

会 場 茂来館メリアホール

講 師 坪根 徹 先生

秋の星空には神話に彩られた星座と美しい天体たちが輝いています。そして私たちの住む佐久平は、全国有数の天体観測に適した土地柄です。これから見える星空の名所と、佐久平と宇宙の深い関わりについて楽しくご紹介いたします。

地域おこし協力隊員コラム

果樹園の夏仕事 ～プルーンの作業と苗木の成長～

地域おこし協力隊 酒巻 寛明



現在、果樹園ではプルーンのシート掛けの作業が行われています。シート掛けとは、収穫期を迎えるプルーンの果実を雨や直射日光から守るため、木全体に大きなシートをかける作業です。方法もさまざまで、①施設のように大規模に覆うもの、②木ごとに掛ける一本かけ、③複数の木をまとめるテント型といった種類があります。園地の規模や環境に合わせて選ばれています。どの方法であっても高所作業となり、安全に配慮しながら進める必要があります。

私も実際に体験してみても、その厳しさを身をもって感じました。足元の不安定な中でバランスを取りながら、重いシートをかけていくのは、想像以上に緊張する作業です。しかも、今年は連日の猛暑。炎天下の下で脚立に上がり、汗だくになりながらの作業は体力的にも大きな負担となります。そんな中でも農家さんたちは慣れた手つきで、危険を最小限にする工夫をしながら淡々と作業を進めていき

ます。例えば、シートの端にロープを結び、それを順に引っ張ってシートをかけていくなど、長年の経験から培われた知恵が随所に光ります。その姿を目の当たりにし、「農業は大変さの中に工夫があり、そこに知恵が積み重なっている」と強く感じました。

また、前回のコラムで紹介した高密度植栽培のリンゴの苗木たちも、少しずつ成長してきています。3月末に植えた時には細い棒のようだった苗木から、今では新しい芽が伸び、若々しい葉が風に揺れています。毎日の管理の中で、少しずつ変化していく姿を見ると、果樹農業の面白さと奥深さを改めて実感します。まだ小さな苗木たちですが、これから数年かけて大きく育ち、やがて収穫へとつながっていくと思うと、その過程を一步ずつ見守ること自体がやりがいになります。

農業は決して楽な仕事ではなく、ときに危険や苦勞も伴います。しかし、その一つひとつの作業には、

先人たちが積み重ねてきた工夫と知恵があります。そして苗木の成長のように、努力の積み重ねは必ず未来へとつながっていきます。これからも安全に気を配りながら、一步ずつ学びを深めていきたいと思っています。



館報 さくほ

編集・発行 佐久穂町公民館 〒384-0503 長野県南佐久郡佐久穂町大字海瀬 2570 TEL.0267-86-2041 FAX.0267-86-2939

令和7年度 二十歳を祝う会

8月15日(金)に茂来館で「二十歳を祝う会」が開催されました。今年度の対象者は86名で、64人の方が出席しました。

式典の主催者は佐久穂町公民館で、実行委員8人により式典及び祝賀会が運営されました。



令和7年度意見発表



二十歳代表 渡邊 葵

本日は、二十歳を迎える私たちのために、このような盛大な式典を開催していただき、誠にありがとうございます。また、佐々木町長をはじめとするご来賓の皆様にご臨席いただき、私たちの門出をお祝いしてくださいますことを大変嬉しく思います。二十歳を代表して、心より御礼申し上げます。

私たちは今日、こうして二十歳を迎えることができました。振り返ると20年という時間は長いようであつという間だったよ

うにも感じます。

小学校では、音楽会や運動会などの行事を通じて、仲間と協力することの大切さを学びました。林業体験など、佐久穂町ならではの自然に触れながらの学習はとても貴重な経験であり、自然の豊かなこの町で育ったことを私は心から誇りに思っています。

中学校では、部活動や生徒会活動に熱心に取り組みました。仲間と本気で何かに挑戦し、やり遂げることの楽しさと達成感を知りました。

高校では、吹奏楽班での練習に打ち込みながら、自分のやりたいことのために勉強にも励む、あわただしい日々を過ごしました。そんな日々の中で、家族の存在のありがたさを実感するようになり、忙しい中でも遠くまで送り迎えをしてくれたり、お弁当を毎日作ってくれたり、進路について私以上に調べたくれたりと、いつも私のやりたいことを全力で応援してくれ家族には、感謝の気持ちでい

ばいです。

現在私は、群馬県の大学で幼い頃から関心を抱いてきた医療について学んでいます。専門的な知識を身に付ける中で、人命を預かるという責任の重さに不安を抱くこともあります。それでも長年追い続けてきた夢に一步步近づいている今、前向きな気持ちで努力を続けています。

特に近年では、がんの分野に興味をもつようになりました。検査や診断、治療の最前線では日々めざましい進歩が続いており、最新の知識や技術を常に学び続ける姿勢の大切さを実感しています。将来は、多くの人々の健康と幸せに貢献できる医療人を目指し、自身の専門性を高めていきたいと考えています。

これからの人生では、新たな環境に飛び込む機会も増え、決して順風満帆なことばかりではないと思います。ときには思い描いた通りに進まないことや、さまざまな課題や困難にぶつかることもあるかもしれません。

そんなときこそ、この佐久穂町で育んだ経験や仲間と過ごしたかけがえのない時間を思い出し、ながら、一步步自分らしい道を切り拓いていきたいと思っています。

また、これまで支えてくれた家族や友人、先生方、地域の皆様への感謝の気持ちは、どんなときも忘れません。いただいたたくさんの方の支えとやさしさを胸に私は、人の気持ちに寄り添い、思いやりをもって誰かの力となる大人を目指します。これから出会うすべての人や出来事と真摯に向き合い、感謝と謙虚な心を忘れず、成長をやめないで歩むことで、少しずつでも恩返しできたかと願っています。

本日は、二十歳という大きな節目を迎えた私たちは、大人の一人としての自覚と責任を胸に、これからの人生を自分らしく歩むことを、ここに誓います。これから温かいご支援とご指導をいただきながら、立派な大人へと成長してまいります。本日は誠にありがとうございました。

第2回人権同和教育講座

第2回人権同和教育講座が7月13日(日)午後2時から茂来館メリアホールで開催されました。講師には、国立重監房資料館館長の黒尾和久さんをお迎えし、「人間の尊厳とは何か」「ハンセン病問題」を中心に考える」と題してご講演いただきました。



第2回講師 黒尾和久さん

講座は大きく3つの項目で構成されていました。まずはハンセン病について、ハンセン病はらい菌による慢性的感染症で、かつては「癩」と呼ばれました。らい菌の感染力は非常に弱く、まれに人から人へ感染することがあっても、現代日本人の衛生状態、栄養状態ではまず発病にいたることはありません。さらに発病したとしても、特效薬もあり正しく治療すれば後遺症もなく完治するということです。

次にハンセン病患者への隔離施策について、この施策が「公共の福祉」からいかに逸脱していたかは、「らい予防法」の廃止後に、ハンセン病患者・回復者(当事者)が国に対して起こした「らい予防法国家賠償請求訴訟」の原告勝利で周知のものとなりました。現在、有識者は、日本のハンセン病隔離政策は、医学的根拠や科学的根拠に基づくものではない、最初から間違っており、それが引き起こしたハンセン病患者・回復者やその家族への偏見・差別は、現代日本にある人権課題の一つであるということです。

最後に資料館設立の3つの目的について、一つ目がハンセン病患者や回復者が苦難を生き抜いてきた証を示すこと、二つ目が自分たちに対してなされたのと同じ過ちが社会に繰り返させないように訴えること、三つ目が国による被害者の名誉回復実践の場とすることです。

講演の冒頭は、日本人はどこから来たのかという問いから始まりました。元をたどれば皆同じであることを歴史は示しています。人権学習は様々な「資料」をもとに、

過去を学び・知り・理解することから始まること、「〇〇」で困難を抱えている人々へのいじめや暴力をなくすとともに、「命こそ宝」という人権感覚を醸成することであると考えます。

第3回人権同和教育講座

第3回人権同和教育講座が8月10日(日)に茂来館メリアホールで開催されました。今回は島崎藤村の長編小説「破戒」DVDを鑑賞しました。午前10時から市川崑監督、市川雷蔵主演の1962年に公開されたシロクロ作品、午後2時から前田和男監督、間宮祥太郎主演の2022年に公開されたカラー作品を111人が鑑賞しました。これらの作品は、階級差別が生んだ日本の悲劇を鋭い文明批判を込めて描いており木下恵介監督の第1作目に次ぐ、第2作目3作目となります。

舞台は明治後半の飯山、「土農工商」の身分制度は廃止されたものの、被差別部落に対する偏見や差別が強く残っていました。主人公の瀬川丑松は被差別部落に生まれ、

父親から「何があっても隠し通せ」という戒めを受けて育ちました。故郷を離れ、小学校教師となった丑松は飯山の小学校に赴任します。こともたちに暮られ、同僚にも支えられながらも生い立ちを隠していることや差別の現状に悩む一方で、土族の娘志保に恋をします。

丑松が慕う猪子蓮太郎は、身分を明かして差別と闘う活動をしており、猪子に影響を受けた丑松は、自らの出自を打ち明けようと考え、思いが揺れ動く中、猪子が壮絶な死を遂げます。やがて丑松が被差別部落出身であるとのうわさが流れ、追い詰められた丑松は、父親の戒めを破り、秘密にしていたことを明かしてしまします。

市川雷蔵主演の1962年作品は原作に近く、丑松が自らを流血させるシーンや雪国の風景が印象的でした。間宮祥太郎主演の2022年作品は原作とは異なる部分も多いですが、日本語字幕などバリアフリー化された作品で、展開もリズムミカルで119分の上映時間を長いと感じさせないものでした。

第3・4回茂来クラブ



7月12日(土)午後2時から茂来館メリアホールで第3回茂来クラブ「真空管アンプ&手づくりスピーカー」でレコード鑑賞第1弾が開催され、30人程の参加者が懐かしい楽曲に耳を傾けました。講師には、小関晴彦さんをお迎えしました。

鑑賞会に使用した真空管アンプはラックスマンが1972年に製造した「LUXKIT A3500」真空管は松下電器製の6CA7(EL35)で、

スピーカーは小関さんが自作したものです。

機器の取り扱いを熟知している小関さんですが、古い機器のため、当日はご苦労が多かったようです。8月24日(日)に予定されていた第2弾は機器の不具合により中止となりました。

奥村土牛記念美術館
クラシックコンサート

7月6日(日)美術館2階大展示で、町民の入館者増と土牛芸術への理解を深めることを目的として、七夕コンサートを開催しました。

中国の伝統楽器「二胡」高山賢人さん、クラシックギター丸山彰一さん、マンドリン高見澤一樹さん、演奏者3名により、午前と午後の2部構成で演奏されました。

当日は、事前予約されたお客様で満席となり、弦楽器の美しい響きが土牛作品と調和し、館内に響き渡りました。町内をはじめ各地からの来館者160名が鑑賞されました。

佐久穂町企業人権同和
教育推進協議会総会が
開催されました

佐久穂町企業人権同和教育推進協議会総会が7月24日(木)午後7時から、茂来館中会議室で開催されました。

2024年度の事業報告・決算報告、2025年度の事業計画・予算及び役員の改選について、参加者全員の賛成で可決・承認されました。

理事には有有限会社丸忠食品の柳沢幸彦さん、佐久浅間農業協同組合佐久穂支所の木内賢一さん、嶋

屋住設株式会社の髙見澤義光さん、三喜工業有限会社の太橋俊雄さん、永井建設株式会社の永井豪さん、株式会社吉本の由井正宏さん、株式会社小林組の小林一吉さん、八千穂漁業の佐々木信幸さん、黒澤酒造株式会社の黒澤孝夫さん、株式会社ホクトの大工原常光さんが選任され、会長には佐久浅間農業協同組合佐久穂支所の木内賢一さんが、副会長には株式会社吉本の由井正宏さんと八千穂漁業の佐々木信幸さんがそれぞれ就任されました。

監事には、佐久穂町立千曲病院の竹内俊文さん、千曲技研株式会社の小林智さんが就任されました。総会終了後は、人権啓発推進DVD、「誰ひとり取り残さないための職場人権シリーズ②」心をつなぐ、はじめの「一歩」を視聴し、職場における人権課題に関する理解を深めました。企業や分館などでDVD教材による研修を行う際には、佐久広域連合佐久視聴覚ライブラリーにおいて無料で借用できますので、ご利用の際には公民館までご相談ください。



第21回 分館バレーボール大会開催

7月13日(日)しらかば社会体育館で、第21回分館対抗・交流バレーボール大会が開催されました。計14チームの皆さんが出席され、コート内を9人皆でボールを追いかけて、スパイク・レシーブ、手に汗握るラリーの応酬、体育館が熱気に包まれました。



受講生が茂来館夏まつりで ミュージックベルをPR

ミュージックベル講座の受講生有志が、8月3日(日)に開催された「茂来館夏まつり」で、来場者との演奏を楽しみました。講座は月1回の割合で開催しており、当日の受講も大歓迎です。皆様のご参加をお待ちしております。



銀河俳句会

短歌

俳句

の 同好会の
作品

父からは何も聞かずに終戦日	雄心
白樺の白きはだちて雨キャンプ	桜峰
百日紅懐かし友と歌合はせ	麗節
日焼けした球児の顔に過去重ね	大竹ミチ子
ひと雨に分け合ふしづく稲の花	芳子
蝉の声気分次第の静と騒	伊藤京子
山ゆりの咲きし我が庭香り立つ	三枝
嬉々として夜半に逃げ出す兜虫	青葉
蟬時雨落ちたあなたをどうしよう	黒澤泰子
書を導く「長崎の鐘」セピアめき	谷ほほ
志解樹展カラスアゲハの舞ひ込みて	麻村水茅
尾のリズム通じ会へたかジョウビタキ	井川こづち

げんきだ！HOOO

佐久穂町スポーツ推進委員会



第2回わくわくチャレンジ教室

今回のわくわくチャレンジ教室は、親子で「カレー作り」と「竹パン作り」。自然豊かな望月少年自然の家キャンプ場をお借りし、総勢56名の参加をいただき、1日思いきり楽しんできました。

キャンプ場へ着くとすぐにカレーライス作りの準備に取りかかりました。子ども達が①火起こし班 ②カレーの具材切り班 ③炊飯班の3つの担当に分かれ、キャンプの達人クレソンさんの指示のもと、準備を進めていきます。「煙が目には染みる」「玉ねぎ切ったら涙が出た」などと子ども達の苦勞しながら楽しそうな言葉がたくさん聞こえてきました。

炊飯班は「カレー作りで一番大切なのは、ごはん」とクレソンさんからプレッシャーをかけられ、緊張感のある中での炊飯準備となりました。

カレーとごはんができあがるのを待つ間に「竹パン作り」をしました。

あらかじめ準備されていたパン生地を竹にグルグルと巻き付け、炭火でじっくりと焼きます。少しずつ生地が茶色くなってきてパンの焼ける匂いがしてくると「いい匂いがしてきた」と子ども達。自分で焼き上げたパンをとっても美味しそうに食べていました。

カレーとごはんもできあがり、みんなで美味しくいただきました。親子の会話も弾み、みんなで協力して作ったカレーライスは特別な味だったと思います。

食後はアスレチックで遊んだり、キャンプ場でくつろいだりと思い思いの時間を過ごし、親子で最高な1日を満喫することができました。



第3回わくわくチャレンジ教室

水の中で泳ぐ魚を手で直接捕まえた経験はありますか？

「両手で持つて!!」と声に力が入り、我が子関係なくアドバイスし、見守る大人たち。冷たい川の水も気にせずにニジマスを追いかける子ども達。

8月9日のわくわくチャレンジ教室。第3回目の企画は「魚のつかみ取り」でした。魚のつかみ取りをやってみよう!!体験させたい!!そんな親子の目は真剣そのもの。

昨年はなかなか触れない、つかめ



ない!!そんな子ども達が今年は余裕な顔で捕まえて見せてくれた姿に成長を感じ、嬉しい限りでした。開始わずか15分でほとんどの子ども達が1人3匹の目標を達成。捕まえた魚を撫でたり、観察したり...

その後、お家に持って帰った魚は、さばいて食べることで命にいても学べたことと思います。天候にも恵まれた抜井川での夏休みの思い出が、少しでも子ども達の学びにつながれば幸いです。推進委員一同、また心よりお待ちしております。

第4回ウォーキング教室

7月19日(土) 第4回ウォーキング教室が開催されました。今回は麦草峠にある地獄谷を目的地にウォーキングしてきました。

全員がバスに乗り込み、茂来館から八ヶ岳を見ると、雲一つない美しい青空が広がっていました。そんな八千穂高原に向けて元氣よく出発しました。そして麦草峠にある麦草ヒュッテの駐車場に到着しました。

準備体操の後いよいよ出発です。入口の足場の悪い場所は板敷で、歩きやすく整備されていました。歩き始めは日向で日差しが強く感じられたのですが、だんだん森に入っていくと日差しが遮られ、苔むした景色になりました。そこは白駒の池の入り口付近を彷彿とさせるような感じでした。

入口に到着し、地獄谷を見下ろすと大きな岩が谷に向かって並んでいました。私は一瞬下りられるのかと少し不安になりました。まず、推進委員が下りてみなさんを待ちました。

そして、それぞれが自分のペースで一步一步進んでいきました。危ない箇所は推進委員が手を貸し

ましたので、全員が無事に谷底に到着することができました。

谷底は大小の岩が重なりあつて、岩と岩の間に水が残っていました。最年少参加者の小学生が、氷に向かって「はー」と息を吐くと息が白くなりました。それを見て、ここは氷が溶けない温度なのだと言っていました。まさに、これが「地獄谷」なのかもしれません。帰り道もゆっくり岩場を登り、全員怪我無く戻ることができました。

私自身初めて訪れた場所で、夏の暑い時期にはいいのではないかと思います。また一つ佐久穂町の新たな名所をみなさんと訪れることができて良かったです。



モルック体験会in

茂来館夏まつり

8月3日(日) 茂来館夏まつりでモルック体験会を開催しました。

今年は全面的に庭を使用させていただいたので、木陰に合わせてコートを移動することで熱中症対策ができました。

モルックとは、モルックという木の棒を投げて、スキットルという12本のピンを倒した内容(倒した本数または1本だけ倒した場合スキットルに書かれた数字)によって加算していき、50点ピッタリになるまで得点した方が勝ちというとてもシンプルなおゲームになります。

参加してくださったみなさんは未就学児から大人まで幅広い年代でしたが、投げて倒すことを意識してもらい、徐々に慣れていってもらったので、笑顔と笑い声が溢れるとても楽しい雰囲気でした。

後半は指導者がいなくても、参加者だけでゲームができるほどでした。

スポーツ推進委員ではモルック

の普及を推進しています。不定期ですが、引き続き体験会も開催予定です。

出張体験会も行っていますので、地区のサロンや分館活動に取り入れて体験したい等のご要望がありましたら、ぜひ公民館事務局までお問い合わせください。心よりお待ちしております。



スポーツサクホ

みんなで
佐久穂のスポーツを
盛り上げよう!



佐久穂町早起き野球連盟 佐久穂プレイボーイズ

大会
結果

大会名：長野県早起き野球
ダークホース県大会
主 催：長野県早起き野球連盟

開催日：令和7年7月6日（日）
会 場：千曲市千曲橋緑地グラウンド
結 果：優勝

昨年のダークホース東信大会で優勝し、まれました。応援ありがとうございました。

今年の県大会への出場権を取得しました。

1戦目は北信の強豪チームと対戦、主砲の
富田さんのホームランで勝ち越し、最終回に
同点にされましたが又もや富田さんのサヨナ
ラホームランで勝利し決勝に進出しました。

1 戦目に続く須田さんの好投で決勝戦は 6
対 6 のまま試合終了、じゃんけんによる決
戦では 5 連勝し、念願の優勝となりました。
最優秀監督賞及び最優秀選手賞の栄にも恵



佐久穂町内スポーツ団体

活動
報告

JSCソフトテニスクラブ ～ソフトテニスボールをご寄贈いただきました～

このたび、佐久ソフトテニス連盟設立 50周年
記念事業として、佐久穂町スポーツ少年団ソフト
テニスクラブへソフトテニスボール5ダース(60
球)のご寄贈をいただきました。

佐久ソフトテニス連盟は、昭和 47年(1972年)
に佐久地域全体のソフトテニスの普及と技術向上
を目指して設立され、これまで数多くの全国レベ
ルの選手を輩出してきました。現在では、ソフト
テニスは年齢を問わず生涯スポーツとしても広く
親しまれています。

このたびの寄贈は、50年にわたる連盟の歩み
と地域スポーツへの貢献の証であり、次代を担う
子どもたちがソフトテニスに末永く親しめるよう
にとの願いが込められています。いただいたボール
は、クラブの活動や練習で大切に活用させて

いただきます。

佐久穂町スポーツ少年団ソフトテニスクラブは、
小学生を中心に、礼儀や協調性を大切にしながら、
仲間と共に技術向上を目指し、明るく元気に活動
しています。今後も、地域に支えられた感謝を胸
に、子どもたちの健全育成とソフトテニスの楽し
さを伝えていけるよう努めてまいります。



町指定文化財の紹介⑦

「八郡村文書」

やこおり

八郡村文書は、村が管理してきた広大な入会山に関する文書を中心としたもので、年貢・諸済目録や山絵図、山札、入会山をめぐる争いに関する文書などが含まれています。これらの文書は、入会山がどのように管理され、近隣の村々にとつてどのような役割を果たしたかを知るうえで重要な資料です。また、明治から大正時代の山林訴訟での証拠資料となった文書も含まれています。



『馬札』

八郡村と八郡山

江戸時代の八郡村は、現在の八郡地区を中心とし、八ヶ岳山麓に広がる山林（八郡山）を有する村でした。この村は、すでに南北朝時代の『大徳寺文書』に登場しています。江戸時代の文書には、「八水村」と書かれたものもあります。隣接する大石村は、八郡村の支郷（本村の組織に付属した村）でした。

八郡村は、八郡、上畑、中畑、下畑、大窪、高野町、宿岩、取出新町など計8か村の入会山であった八郡山の山元（地元村）でした。八郡山は、現在の小海町や茅野市との境までの広大な山林が含まれていました。八郡村の名主は、入会山の管理者（山元）として、山野の管理、山税の徴収と納付、入会許可書である山札（馬札）の配付、盗賊の取り締まりなどを行っていました。また、八郡山の大理石を通る道は、佐久郡と諏訪郡を結ぶ重要な交通路でした。

八郡山下戻訴訟の証拠資料

明治時代に入ると、八郡山は政府によって官有林（国有林）に編入されてしまいます。畑村と八郡村の合併で発足した畑八村では、明治三二年（一八九九）に八郡山の払い下げを申請しますが、明治三七年に却下されてしまいました。この間にかかった多額の費用の約3割を村が、7割近くを、申請した八郡区の委員6人が工面したとされています。

これを受けて、地元八郡区では区総会を開くなど協議を重ね畑八村と相談のうえ、同年十二月に農商務大臣を相手取って下げ戻しの行政訴訟を起こしました。裁判は大正二年（一九一三）に結審し、勝訴が確定しました。これにより畑八村は、約四千町歩（茂来館敷地の八百倍）の山林を村有地とすることができました。裁判では、八郡村文書が有力な証拠資料になりました。

担当した弁護士への報償として、契約したとおり千五百町歩の山林と立ち木の所有権が譲渡されました。山林は、大正三年に松井田町

の銀行頭取の所有となり、その後大日向村の与志本合資会社の所有となりました。

（文化財保護審議委員 新海節生）



『八郡村 戊午の年貢割付文書 (部分)』

図書館だより

佐久穂町図書館 (Tel.0267-86-7020)

風船アート

夏の読書週間(8月2日~11日)の様子

講座は茂来館夏まつりと
同時開催のワークショップでしたアロマで
リップ

夏のおはなし会スペシャル



ミュージックベルの演奏や紙芝居・パネルシアター・大型絵本の読み聞かせなど楽しみました。

「ちょこっと司書体験」は
2名の小学生が参加して
くれました。

移動図書館車巡回日程

令和7年度下半期

コース	No.	巡回場所	時間	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(火)	1	八千穂保育園	15:40~16:00	毎週（都合により巡回しない日もあります）					
(水) A コース	1	佐久穂園	10:10~10:40	8日 22日	12日 26日	17日	21日	4日 18日	11日
	2	愛の郷・グループホーム	10:45~11:00						
	3	千曲園	13:35~14:05						
	4	筆岩 旧集乳所	14:35~14:50						
	5	穴原公民館	15:05~15:20						
	6	陽だまりの家 宮前	15:30~15:45						
(木) B コース	1	こどもセンター	11:00~11:45	育児相談日					
	2	かさなり	13:20~13:35	9日 23日	13日 27日	18日	22日	5日 19日	12日
	3	川久保集落センター	13:40~14:00						
	4	旧JA佐久浅間大日向支所	14:10~14:20						
	5	栄保育園	15:40~16:00						
(金) C コース	1	愛の郷・特養	10:30~11:00	10日 24日	14日	19日	23日	6日 20日	13日
	2	佐久穂町役場	12:40~13:05						
	3	陽だまりの家 海瀬	13:15~13:30						
	4	城山公民館	13:40~13:55						
	5	羽黒下駅	14:05~14:20						
	6	花岡公民館	14:30~14:45						

※天候等により停車時間が前後する場合がありますのでご了承ください。また、荒天のときは、巡回を中止する場合があります。

📖 本を借りるときは利用者カードが必要です。(佐久穂町図書館と共通のカードです)

📖 読みたい本がありましたら、お気軽にお声がけください。電話での本の予約、リクエストをお受けします。

📖 図書館が休館日のときは、巡回もお休みです。ご不明な点がありましたら、佐久穂町図書館へご連絡ください。





発見! さわめびと

12年かけてミニS.Lを完成。運転会のために機関車と「格闘」する日々――



でうら ひであき
出浦 英朗さん

1989年旧八千穂村生まれ。小海線で結婚式の「ブライダルトレイン」を挙げた鉄道好きの両親のもとに育つ。子どもころNゲージにハマり、岩村田高校電子機械科卒業後、「運転手志望」でJR貨物へ。就職後、ミニS.Lを作り始め、12年かけて完成させる。15年間の東京勤務を経て、2年前から新潟県新潟区に。「町民文化祭」「Gかたん」などで運転会を度々開催。ミニS.Lの整備などのために、新潟と実家を往復する生活を続けている。新潟市在住。

「社宅に置いてあちこちいじったり、寝そべって眺めては今度帰ったらあそこをこうしようとか考えています(笑)。車に運びこむときは、同僚や部下に手伝ってもらっています。機関車は恋人? いや、僕の分身ですね」

鉄

道好きの父親の影響で子どものころから鉄道を追いかけてきた。

Nゲージ(鉄道模型)に三年ほどハマり、ミニS.L(1/8縮尺)を始めたのは高校時代。三年のときの課題研究で、モーターを搭載した客車を作り、社会人になった一二年、本格的にミニS.Lを作り始めた。

シャーシーセットに始まり、大車輪セットなど少しずつ部品を買い足していき、完成までに要した歳月はなんと十二年。

「最初は自分に出来るのか自信がなかったんですけど、どこまで再現できるか一からやってみよう、と。それがいつのまにかだんだんとできるようになって、でも穴を間違えて開けたり、失敗はしょっちゅうでしたわ」

ミニS.Lといっても、迫力は満点だ。鉄製の真つ黒な車体は、

機関車だけで重さ百キロ弱。炭水車を入れると、百数十キロになる。とてもひとりで運べる重量ではない。これが実際に石炭を燃やせば、「シユシユボボ」と蒸気を吐いて走る。

「シリンドラーに蒸気を入れて動かすという構造は本物とまったく同じ。そこがミニS.Lの魅力ですね」

ミニS.Lの世界はやや特殊だ。部品はキットで売られているが、メーカーはいま一社のみ。しかも、プラモデルのように組み立てれば出来上がり、というものではない。

「大車輪セットなどは設計図に従ってボール盤で寸分違わず穴を開ける。旋盤で削る、といった加工が必要で、キットといってもむずかしいキットなんです」

英朗さんが「工場(こうば)」と呼ぶ実家の一隅にある作業スペース。旋盤、ボール盤、プレス機、フライス盤、溶接機、コンプレッサーといった工作機械が並び、こうした機械類を駆使して加工する。工作機械には高校時代から慣れているが、それでも難題は次々にやってくる。

「でも、それをどうやって解決するか考えている時間が楽しい。これくらいいいや、と妥協するのがイヤですね。ミニS.L愛好家は運転するのが好きな人と整備をするのが好きな人に分かれるんですけど、ぼくは後者ですね」

「使ったほうが簡単なんですけど、アクリル感がどうしても出ちゃうので、ガラスを使っています」

「あ、これ手作りじゃない」と言われるのがうれしい。「仲間をビックリさせたい、という気持ちがやっぱりありますね」。その愛好家も高齢化が進み、「ぼくなんか超若手です」。

驚いたのがヘッドランプ。「電池? いえ、ちゃんと蒸気で発電した電気を使っています」。

さすが蒸気機関車! 仕事は、故障調査、品質管理などの車両メンテナンス。「ミニS.Lを作ったことで技術力も上がったし、ミニS.Lで得た知識が意外と仕事で使えたりします」

運転会に向けて最近作ったのが信号機。「こういう灯りの点くものって、子どもが喜んでくれるんですよ」と顔を輝かせる。

「夢はレールが常に敷かれた常設の場所を持つこと、ですね」



東西の多摩で運転操作も大きく変わるといふ。「実際の運転も大変だったろうと想像しながら運転しています」=旧八千穂中グラウンド